



平成二十七年年度

## 県高校総体速報

なぎなた 五月三十日～三十一日

なぎなたは、団体試合四戦全勝し(玉那覇・島袋・根本・城間・石川・瀬長・喜久山)、二年ぶり二十四度目の優勝を遂げました。演技の部では、二位、玉那覇・瀬長・ヘア、三位、座波・城間・ヘアが入賞しました。



そのうち団体と演技の部の二位の皆さんが全国への切符を手に入れました。

ヨット 五月三十日～三十一日

ヨットは東浜ヨットハーバーで行われ、FJ級優勝 糸洲・儀間組、準優勝 大城・外間組、三位 神里・湧川組、SR級 優勝 呉屋康平、準優勝 高里優也、三位 伊良波侑樹と完全制覇を果たしました。次は、今月の第四十三回全九州高等学校ヨット競技大会(佐賀県)開催に向け、早くも調整に入っています。

弓道 五月三十日～三十一日

弓道は、奥武山弓道場で行われ、個人戦の白熱した試合展開になりました。男子の部では個人三位に東江達也さんが入賞し、九州大会への切符を獲得しました。



第一回「応用クラス集会」  
五月二十一日(木)

五月二十一日、本校で第一回応用クラス集会が開催されました。一年～三年の合計二〇二名が体育館に集まり、応用クラスの目的、意義を本原泉教頭が確認し、第一回実力テストの分析と説明を神谷俊郎進路指導部主任が行いました。一堂に会すのは初めてのことで、同じ志を持った仲間意識の芽生えた集会となりました。

